

補助事業概要の広報資料

補助事業番号 23-4-028

補助事業名 平成 23 年度（復興支援） 被災者や被災地域が自ら行う復興活動 補助事業

補助事業者名 学校法人東北工業大学

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

仮設住宅地（長町等）における仮設入居者への支援活動を行い、もって東日本大震災の復興に寄与する。支援活動では、仮設入居者相互の交流と協働の取組みを展開することで高齢者の孤独を防ぐとともに、自立再建に有利と思われるコミュニティ単位での住宅再建方法、あるいは定期借地権等を組み合わせた費用負担の少ない方法等について、仮設入居者が積極的に検討していくことができる状況をつくることを目的とする。

(2) 実施内容

[活動報告（東北工業大学）](#)

本活動では、素人でも取り組み可能なカスタマイズ（環境改善）を実践し、仮設に暮らす住民自らが主体的に収納づくり等に取り組めるようにサポートすることを趣旨として活動を実施してきた。住民が主体的に取り組むには、きっかけが必要となるため、上記に記したような住民参加促進（カスタマイズ café）イベントを開催している。ここでは、仮設の住みこなし術を紹介するレクチャー（仮設のトリセツ・新潟大岩佐先生）を実施したり、改造が盛んなお宅を拝見するツアーを実施したり、広場でカフェを開きながら、縁台づくりを行うワークショップを展開したりしている。こうした住民の主体的な取組みが活性化していくことで、復興への意欲の向上とともに、コミュニティ形成にも寄与するものと考えている。ふれあいサロンについては、毎月あすと長町仮設住宅の集会所にて地元 NPO のまざらいんが主催しているものを、サポートしている。このサロンに参加している住民から住まいの改善の要望を聞き取り、実践に結び付けている。さらに、荒井東通仮設住宅では、津波の被害を受けた荒浜地区の集団移転を含むまちづくりの住民協議の場で、情報提供や意見のとりまとめ等を実施し、住民提案づくりに向けて支援を行っている。加えて、荒浜新聞の発行について、支援を行っている。これらは、いずれも住民からのニーズの高い支援であり、平成 24 年度も継続して実施していく予定である。なお、本活動は、朝日新聞宮城版（8/12）、読売新聞全国版（11/23）に取り上げられ、また、都市住宅学会（12/10）、日本建築学会（2/22）等で報告する機会があり、さらに、復興支援の展示会（東京、仙台、パリ）にも出展したため、地元仙台のみならず全国の建築界に知られることとなった。



縁台ひとつでいくつもの笑顔



縁台づくりに挑戦中の学生たち



屋台カフェ



カフェで一杯



夏の日差しにも負けずに作業

2. 予想される事業実施効果

今後予想される効果は、住環境改善の取り組みが仮設住宅だけにとどまらず、津波浸水地域における自力での住宅改修に対して支援していける可能性がある。仙台市沿岸部の津波浸水地域では、1階部分の被害により当面住めない状況となっている住宅が多いが、最近では資材を調達して自力で改修し始めるケースが増えている。これらの自力改修では、行政の支援も受けられていない。このような復興への新たなフェイズで、仮設での環境改善の経験を生かすことができると考えている。一方、仮設住宅においても、特に7000戸以上が建つ石巻市内では、民間の支援がほとんど届かず、自主的な環境改善が進んでいないところが多く見受けられる。こうした、外部支援不毛地帯での活動を通して、前述した成果を面的に広げていくことができると考えている。

3. 本事業により作成した印刷物等

仮設カスタマイズお助け隊のパンフレット（約1000部）

活動体制

●メンバー

東北工業大学 新井信幸研究室 (建築学) 新井研究室
 伊藤美由紀研究室 (ライフデザイン学部 安全安心の生活デザイン学) 伊藤研究室
 新技術創造研究センター 代表、木村 次夫

masaich

●支援・協力いただいている団体

アサヒ長野仮設住宅運営委員会 (社) ノンノナルサポートセンター
 (株) 東野工芸 (社) 宮城県建築士会女性部会
 (株) 岩崎産業 (株) 北七ヶ丘 (仮設住居がいそセンターみりぎ)
 西松製作所 象地域設計
 CASE まちづくり研究所 ビルト・フルーガス
 宮城県立大学非常勤会 (財) KA
 (財) 宮城県建築住宅センター 発着るプロジェクト
 新井大学・住宅研究センター 愛知産業大学・小杉学研究室
 千葉大学・鈴木雅之氏

●出張カスタマイズも行っていきます

①塩釜市伊保石仮設住宅
 ②岩手県大船渡市長浜仮設住宅
 ③南三陸町戸倉中学校グラウンド仮設住宅

お問い合わせ

東北工業大学 工学部建築学科 新井信幸研究室
 〒982-8577 仙台市太白区八木山香澄町35番1号
 Tel:022-305-3614 Fax:022-305-3601 (学科共通)
 E-mail: no-arai@tohtech.ac.jp HP: http://arai-lab.cafe.coccan.jp/
 トwitter: 復興ブログ http://ameblo.jp/no-arai/

仮設カスタマイズお助け隊の活動は (財) JKA、(財) 宮城県建築住宅センターの支援を受けて実施しています。

仮設カスタマイズお助け隊
 The Temporary Housing Customization Support Team

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 学校法人東北工業大学 建築学科 新井研究室
 (ガッコウホウジントウホクコウギ ヨウダ イカク ケンチカガ ッカ アライケンキョウジ)

住所： 〒982-8577
 宮城県仙台市太白区八木山香澄町35番1号

代表者： 理事長 岩崎俊一 (イワサキ シュンイチ)

担当部署： 建築学科 新井研究室

担当者名： 新井信幸 (アライノブキ)

電話番号： 022-305-3614

F A X： 022-305-3601

E-mail： no-arai@tohtech.ac.jp

URL： <http://arai-lab.cafe.coccan.jp/>